



外国人労働者を増やすための施策が必要では



Q 2040年には日本の高齢者人口がピークに達し、労働力不足の深刻化など、さまざまな問題が起こると予測されている。この2040年に直面する問題に対しては市としても施策を講じていく必要があるのではないか。新たな労働力を創出するために、外国人労働者への日本語学習の支援など、外国人労働者の雇用を増やすための施策が必要ではないか。

A 外国人労働者の雇用による新たな労働力の創出のために、市内企業が外国人労働者を受け入れやすくする環境づくりが必要と考えている。また、受け入れ後も、市民と良好な関係を築けるよう相談体制の充実などを検討していく。

現在、市内企業が抱える外国人労働者の雇用に係る課題やニーズの把握に努めている。今後、関係団体と連携しながら外国人を含めた雇用施策を充実していく。

日本語学習支援の課題は指導者の確保が難しい点が挙げられるが、そうしたことも含めて行政として積極的に関わっていききたい。